

国語 1 バスの運転士にインタビューをする

1 小森さんの学級では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューをすることにしました。バスの運転士に興味のある小森さんたちは、インタビューで質問することを話し合っています。次の「話し合いの様子」と「話し合いの記録」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを知りたいな。きつと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだな。

小森さん 確かに、大変そうだね。「仕事で大切にしていること」で話してくれたことをきっかけにして、「仕事で大変なこと」を聞くことができるかもしれないよ。

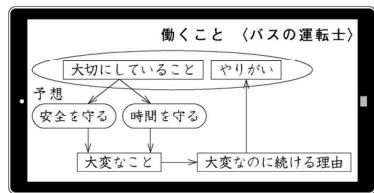
清川さん バスの運転士は、楽しそうだなと思っていただけ、大変な理由も聞きたいな。

町田さん きつと仕事にやりがいがあるからだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることとやりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいな。

小森さん うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめたいよ。この進め方がいいかな。

【話し合いの記録】



1 「話し合いの様子」の小森さんは、インタビューをどのように進めようかと考えて、部Aの発言をしました。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。
 - 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、相手が答えやすい内容を選ぶようにしている。
 - 複数の質問を関連づけて聞くことで、相手が答えやすい内容を選べるようにしている。
 - 複数の質問を関連づけて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。
- 2 「話し合いの記録」の書き表し方を説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 質問する内容を丸で囲み、質問しない内容に線を引いて区別している。
 - 質問する内容を四角で囲み、線でつなぐことでインタビューの流れを整理している。
 - 質問する内容を短い言葉で書き、線でつなぐことで質問を一つにしばっている。
 - 質問する内容をできるだけ詳しく書き、多くの質問ができるようにしている。

3 小森さんたちは、バスの運転士の岡さんにインタビューをすることにしました。次の「インタビューの様子の一部」をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【インタビューの様子の一部】

小森さん 私たちは、働くことについて考えるために、興味のある仕事について調べています。今日は、岡さんの仕事についてうかがいます。どうぞよろしくお願ひします。

岡さん どうぞよろしくお願ひします。

小森さん はじめに、バスの運転士として岡さんが大切にしていることを教えてください。

岡さん バスはたくさんの人を乗せていますから、やはり、安全に目的地までお送りすることを大切にしています。

小森さん 安全に運転することは大事なことですね。安全に運転するために、例えばどのようなことを心がけているのですか。

岡さん 道が混んでいると時刻どおりに運行できないこともあります。あわててしまうと、大きな事故につながりかねないので、落ちついて運転するようにしています。それに、バスの安全を守っているのは運転士だけではないんですよ。

小森さん ええ、そうなんですか。運転士のほかにどんな人がいるのですか。

岡さん そのほかに、私たち運転士の健康状態を確認するなど、安全な運行を管理する人もいます。

小森さん いなるほど。たくさんの方が、乗客の安全を支えてくださっているんですね。私たちは時間を守ることも大切だと思いましたが、私たちが思っていた以上に安全を第一に考えてくださっていることが分かりました。

清川さん バスの安全な運行のためには、大変なこともあると思いますが、いかがですか。

(1) 「インタビューの様子の一部」の小森さんが部Aのように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 自分が知りたいことをより具体的に知るため。
 - 質問する理由を相手に正しく伝えるため。
 - 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。
 - 相手が伝えたいことを明確にするため。
- (2) 「インタビューの様子の一部」の小森さんが部Bのように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 相手の答えは自分の予想どおりであることが分かったから。
 - 自分が聞くこととしていた内容のほかに、新たに聞きたいことが見つかったから。
 - 相手の答えと自分の考えを比べて、考えを深めることができたから。
 - 自分が共感した内容を取り上げて、話題を広げようと考えたから。

出題の趣旨

目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめるためには、目的や意図に応じて、必要な材料を集め、分類したり関係付けたりして伝え合う内容を検討することが重要である。

本問では、働くことについて考えるために、興味のある仕事をしている人にインタビューをする場面を設定した。バスの運転士に興味がある小森さんたちは、インタビューで質問することを話し合い、その後、バスの運転士である岡さんにインタビューをしている。ここでは、小森さんの立場を通して、話し合いの場面において、自分の目的や意図に応じて、相手から聞きたいことを引き出すために、質問したいことを分類したり関係付けたりして、インタビューの進め方を考えることが求められる。その際、語句と語句を線でつなぐなど書き表し方を工夫しながら記録することで、内容やインタビューの流れを整理することが求められる。さらに、実際にインタビューをする場面において、自分が聞こうとする意図に応じて、相手から具体的な内容を引き出したり、引き出した相手の考えと自分の考えを比較して共通点や相違点を整理し、考えをまとめたりすることも求められる。

なお、過去の調査結果で見られた課題と関連する設問は、以下のとおりである。

- 設問一は、令和6年度【小学校】国語¹一（正答率62.6%）において、「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること」、令和6年度【小学校】国語¹三（正答率64.0%）において、「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

イ インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。

設問一

趣旨

目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。

1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
1	1 1 と解答しているもの	9.0	
	2 2 と解答しているもの	10.7	
	3 3 と解答しているもの	26.2	
	4 4 と解答しているもの	53.5	◎
	99 上記以外の解答	0.1	
	0 無解答	0.5	

2. 分析結果と課題

- 令和6年度【小学校】国語1一（正答率62.6%）において、「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること」、令和6年度【小学校】国語1三（正答率64.0%）において、「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること」に課題があると指摘している。これに関連して、本設問では、インタビューを行う意図を選択する問題を取り上げた。本設問の正答率は53.5%であった。今回の結果から、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することに引き続き課題があると考えられる。
- 解答類型1、2は、小森さんが、複数の質問の違いを明確にしていると捉えており、複数の質問を関連付けて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしていると捉えることができなかつたと考えられる。これらの中には、【話し合いの様子】において、小森さんが「仕事で大切にしていること」と「仕事で大変なこと」という二つの異なる質問について話していることから、その違いに着目していると捉えた児童がいたと考えられる。
- 解答類型3は、小森さんが、複数の質問を関連付けていると捉えることはできているが、聞きたいことを相手から引き出そうとしていると捉えることができなかつたと考えられる。この中には、【話し合いの様子】において、小森さんの「聞くことができるかもしれないよ。」という発言などから、自分たちが聞きたいという意図よりも、相手が答えやすいように質問を考えていると捉えた児童がいたと考えられる。

3. 学習指導に当たって

目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する

- 伝え合う内容を検討する際、聞くことにおいては、目的や意図に応じて、聞くことを具体的に考え、関係する材料を整理しておくことが重要である。

本設問では、バスの運転士に興味をもった小森さんたちが、バスの運転士に「インタビューで質問すること」について話し合っている。ここでは、小森さんが、「働くことについて考える」という目的に沿って、グループで出された意見を整理しようとしていることを捉えることが求められる。

学習指導に当たっては、知りたいことについて、自分が知っていることや予想したこと、疑問に感じていることなどを聞く目的や意図に応じて内容ごとにまとめたり、それらを互いに結び付けて関係を明確にしたりすることが重要である。また、知りたいことを聞くという目的に加えて、相手の答えを予想したり、予想した答えと関連して聞きたいことを考えたりするなど、聞くときの場面や状況を意識することも大切である。

具体的な授業の例として、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、インタビューで質問する内容を検討する指導事例を、「授業アイデア例」の集めた材料を分類する場面と伝え合う内容を検討する場面に示す。

学習指導に当たっては、以下の資料も参考になる。

(参照)

- ① 「令和5年度【小学校】報告書」 pp. 42-43

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23plang_k.pdf#page=45

- ② 「令和5年度【小学校】授業アイデア例」 p. 50

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23plang_k.pdf#page=53

設問二

趣旨

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 知識及び技能

(2) 情報の扱い方に関する事項

イ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答	
①	二			
	1	1 と解答しているもの	8.6	
	2	2 と解答しているもの	63.2	◎
	3	3 と解答しているもの	18.8	
	4	4 と解答しているもの	8.8	
	99	上記以外の解答	0.1	
0	無解答	0.5		

2. 分析結果と課題

- 「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと」については、令和5年度【小学校】国語2三（正答率62.2%）の問題において課題があると指摘し、令和6年度【小学校】国語2一(2)（正答率87.0%）の問題においては比較的できていると指摘している。これに関連して、本設問では小森さんたちの【話し合いの様子】と【話し合いの記録】とを結び付けて、小森さんの書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する問題を取り上げた。本設問の正答率は63.2%であった。今回の結果から、小森さんたちの【話し合いの様子】と【話し合いの記録】とを結び付けて、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題があると考えられる。
- 解答類型1は、小森さんが、質問する内容を丸で囲み、質問しない内容に線を引いて区別していると捉えており、質問する内容を四角で囲み、線をつなぐことでインタビューの流れを整理していると捉えることができなかつたと考えられる。この中には、【話し合いの記録】において、言葉を丸で囲んでいることなど図示されていることのみに着目し、どのように語句と語句を整理しているのかを捉えることができなかつた児童がいたと考えられる。
- 解答類型3は、小森さんが、質問する内容を短い言葉で書き、線をつなぐことで質問の一つに絞っていると捉えており、質問する内容を四角で囲み、線をつなぐことでインタビューの流れを整理していると捉えることができなかつたと考えられる。この中には、【話し合いの記録】から、小森さんが短い言葉で記録していることや、線で内容をつないでいることなどの表し方を理解することはできていたが、語句と語句との関係を理解することができなかつた児童がいたと考えられる。

- 解答類型4は、小森さんが、質問する内容をできるだけ詳しく書き、多くの質問ができるようにしていると捉えており、質問する内容を四角で囲み、線でつなぐことでインタビューの流れを整理していると捉えることができなかつたと考えられる。この中には、【話し合いの記録】において、小森さんが【話し合いの様子】で出てきた内容を記録していると理解することはできていたが、語句と語句との関係付けの仕方や、図などによる語句と語句との関係の表し方について理解することができなかつた児童がいたと考えられる。

3. 学習指導に当たって

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う

- 図などによる語句と語句との関係の表し方とは、複数の語句を丸や四角で囲んだり、語句と語句を線でつないだりするなど、図示することによって情報を整理することである。図示などにより、語句と語句との関係を表すことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることができることを理解し、様々な学習活動において活用できるようにすることが求められる。

本設問では、グループで話し合っている中で、小森さんが、インタビューにおいて質問することを、友達の意見を聞きながら、【話し合いの記録】に整理している。ここでは、小森さんが、質問する内容を四角で囲み、線でつないでインタビューの流れを整理していることを捉えることが求められる。

学習指導に当たっては、目的や意図に沿って、線や囲みなど図示することによって自分なりに情報を整理できるようにすることが重要である。また、第5学年及び第6学年の〔思考力、判断力、表現力等〕の「A 話すこと・聞くこと」の(1)「ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。」との関連を図り、指導の効果を高めることが考えられる。情報の整理の仕方については、様々な方法があり、年間を通じて複数回、意図的に指導することも大切である。

具体的な授業の例として、情報を整理した意図や図示の意味などを共有する指導事例を、「授業アイデア例」の伝え合う内容を検討する場面に示す。

学習指導に当たっては、以下の資料も参考になる。

(参照)

- ① 「令和5年度【小学校】報告書」 pp. 42-43

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukouku/report/data/23plang_k.pdf#page=45

- ② 「令和5年度【小学校】授業アイデア例」 p. 50

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukouku/report/data/23plang_k.pdf#page=53

設問三(1)

趣旨

自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答	
①	三 (1)	1	1 と解答しているもの	72.0	◎
		2	2 と解答しているもの	7.5	
		3	3 と解答しているもの	5.7	
		4	4 と解答しているもの	14.2	
		99	上記以外の解答	0.1	
		0	無解答	0.6	

2. 分析結果と課題

- 本設問の正答率は72.0%であった。今回の結果から、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることはできていると考えられる。
- 解答類型2は、小森さんが、質問する理由を相手に正しく伝えようとしていると捉えており、自分が知りたいこと具体例を引き出そうとしていると捉えることができなかつたと考えられる。この中には、小森さんの「安全に運転することは大事なことです。」という発言などから、質問する理由を相手に正しく伝えようとしていると捉えた児童がいたと考えられる。
- 解答類型3は、小森さんが、自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめようとしていると捉えており、自分が知りたいこと具体例を引き出そうとしていると捉えることができなかつたと考えられる。この中には、小森さんの「安全に運転することは大事なことです。」という発言などから、自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめようとしていると捉えた児童がいたと考えられる。
- 解答類型4は、小森さんが、相手が伝えたいこと中心を明確にしようとしていると捉えており、自分が知りたいこと具体例を引き出そうとしていると捉えることができなかつたと考えられる。この中には、小森さんの「例えばどのようなことを心がけているのですか。」という発言などから、相手が伝えたいこと中心を明確にしようとしていると捉えた児童がいたと考えられる。

3. 学習指導に当たって

自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉える

- 情報を集めるためにインタビューをするとは、目的をもって特定の相手に質問をし、必要な情報を聞き出すことである。このようなインタビューを行う際には、事前に、相手に聞くことを具体的に考え、関係する材料を整理しておくことが重要である。

自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉える際には、自分はどのような情報を求めているのか、聞いた内容をどのように生かそうとしているのか、そのためにどういった情報を相手から引き出そうとしているのかなどを明確にして聞くことが大切である。

本設問では、実際にインタビューをする場面において、小森さんが、「働くことについて考える」ために、事前にグループで話し合ったインタビューの進め方を意識しながら、バスの運転士の岡さんに「バスの運転士として大切にしていること」を質問をしている。ここでは、小森さんが予想していた「乗客の安全を守る」ことについて、より具体的な内容を引き出そうとしていることを捉えることが求められる。

学習指導に当たっては、実際にインタビューをする場面において、自分の質問に対する相手の答えを受け止め、その答えに応じて即興的に反応できるようにすることが求められる。そのためには、インタビューをする前に、自分が知りたいことや疑問に思っていることを整理したり、相手の答えを予想したりするなどして、準備をしておくことが大切である。その際、インタビューの流れをメモしたものを手元に用意することも、自分が聞きたい情報や聞いた内容の生かし方を意識してインタビューをできるようにするために効果的である。メモについては、ICT 端末を活用して、データとしてグループで共有することも考えられる。

具体的な授業の例として、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉える指導事例を、「授業アイデア例」のインタビューをする場面に示す。

学習指導に当たっては、以下の資料も参考になる。

(参照)

「令和5年度【小学校】授業アイデア例」 pp. 67-68

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23plang_k.pdf#page=70

設問三(2)

趣旨

話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答	
①	三 (2)	1	1 と解答しているもの	2.6	
		2	2 と解答しているもの	15.9	
		3	3 と解答しているもの	73.8	◎
		4	4 と解答しているもの	7.0	
		99	上記以外の解答	0.1	
		0	無解答	0.6	

2. 分析結果と課題

- 本設問の正答率は73.8%であった。今回の結果から、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることはできていると考えられる。
- 解答類型1は、小森さんが、相手の答えは自分の予想どおりであることが分かったと捉えており、相手の答えと自分の考えを比べて、考えを深めていると捉えることができなかったと考えられる。この中には、小森さんの「私たちは時間を守ることも大切だと思っていました」という発言などから、相手の答えが自分の予想どおりであると捉えた児童がいたと考えられる。
- 解答類型2は、小森さんが、自分が聞こうとしていた内容のほかに、新たに聞きたいことを見付けていると捉えており、相手の答えと自分の考えを比べて、考えを深めていると捉えることができなかったと考えられる。この中には、小森さんの「私たちが思っていた以上に」という発言などから、新たに聞きたいことを見付けていると捉えた児童がいたと考えられる。
- 解答類型4は、小森さんが、自分が共感した内容を取り上げて、話題を広げようと考えていると捉えており、相手の答えと自分の考えを比べて、考えを深めていると捉えることができなかったと考えられる。この中には、小森さんの「なるほど。たくさんの方が、乗客の安全を支えてくださっているんですね。」という発言などから、自分が共感した内容を取り上げていると捉えた児童がいたと考えられる。

3. 学習指導に当たって

話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる

- 話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめるためには、話し手の考えと自分の考えとを比較して共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめることが大切である。

本設問では、小森さんたちが聞いたかった「バスの運転士として大切にしていること」について、インタビューを通して、具体的な内容を岡さんから引き出している。ここでは、小森さんが納得した事例を岡さんに伝えていることを捉えることが求められる。

学習指導に当たっては、自分が知りたい内容に関する言葉を取り上げ、更に質問しながら理解を深め、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめていけるようにすることが大切である。

具体的な授業の例として、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる指導事例を、「授業アイデア例」のインタビューをする場面に示す。











学習指導に当たっては、以下の資料も参考になる。

(参照)

「令和5年度【小学校】授業アイデア例」pp. 67-68



https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23plang_k.pdf#page=70


本問全体の学習指導に当たって
授業アイデア例


<p>「働くことについて考えるためにインタビューをしよう」 ～目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、話し手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる～</p>	<p>〈実施対象学年〉 第5・6学年</p>	
<p>目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、話し手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめることに課題が見られました。そこで、本授業アイデア例では、令和7年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語¹の学習の流れに沿って、課題に応じた三つの場面（集めた材料を分類する場面、伝え合う内容を検討する場面、インタビューをする場面）を取り上げて、指導事例を紹介します。</p>		
<p>集めた材料を分類する場面</p>	<p>課題意識をもち、目的や意図に応じて、集めた材料を分類する</p>	
<p>◇ 小森さんの学級では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューをすることにしました。 課題に対する一人一人の気づきや疑問を引き出す</p>		
<p> 教師</p>	<p>みなさんは「働くこと」は、どんなことだと思いますか。身近な働く人では、どんな人が思い浮かびますか。そして、どんな話を聞いてみたいですか。</p>	
<p> 小森さん</p>	<p>「働くこと」って、どんなことだろう。私が乗るバスの運転士さんは、乗り降りする時に必ず声をかけてくれるなあ。どんなことを考えながら働いているんだろう。大変なことはないのかな。 身近な出来事との関連付け</p>	
<p> Aさん</p>	<p>働くことは、生活するために必要なことだと思う。でも、身近な働く人って、どんな人がいるかなあ。特に知りたいこともないなあ。</p>	
<p> Bさん</p>	<p>働くことは、毎日仕事をするということじゃないかな。自分の好きなことが仕事にできたら、毎日楽しいと思うな。子供の頃から今の仕事をしたいと思っていたのかなあ。 興味や関心との関連付け</p>	
<p> Cさん</p>	<p>興味があるのはプログラミングの仕事かな。その仕事をするためには、今からどんなことをしておくといいだろう。 友達の考えから想起</p>	
<p> Dさん</p>	<p>うれしいことや楽しいことはあると思うけど、仕事を続ける大変さもあると思うな。どうして今の仕事を続けているのか、普段どんなことを考えて働いているのかも聞いてみたい。</p>	
<p>友達の話を聞きながら、「働くこと」ということについて、考えてみたいことがもてたようですね。誰にインタビューをすると、働くことについてより深く考えられそうですか。また、どんなことを聞きたいですか。</p>		
<p>いつも乗るバスの運転士さんに、働く中で大切にしていることを聞きたいな。</p>	<p>プログラミングの仕事をしている人に、仕事を選んだ理由を聞いてみたい。</p>	<p>よく本を借りに行く市立図書館の司書さんに、いつから目指したのか聞きたいな。</p>
		
<p>ポイント</p>		
<p>○ 課題に対して身近な出来事を想起したり、興味や関心と結び付けたりしている児童の発言や様子を取り上げ、児童の課題意識やインタビューへの必要感を高めることが効果的です。</p>		

◇ 小森さんの学級では、興味のある仕事ごとにグループをつくり、聞きたいと思うことを出し合って整理しています。


バスの運転士グループ

 小森さん	 清川さん	 町田さん
どんな小学生だったか	仕事についたきっかけ	子どものころは、何が好きだったか

 私は、「どんな小学生だったか」を聞きたいと思っているよ。小学生の頃にがんばっていたことや、得意だったことが、今の仕事につながっているんじゃないかと思うからなんだ。

 私の「子どものころは、何が好きだったか」という質問は、小森さんの「どんな小学生だったか」という質問と、聞きたいことが似ているよ。二枚のカードを近くに置くな。


共通する関係


 今回の仕事についての質問と、子どもの頃や仕事を始める前のことを置く場所を、分けた方が分かりやすいと思うな。カードの共通点を短い言葉にして分けておこう。


比較・分類


【集めた材料を分類している様子】

運転士さんの思い		仕事をする前のこと	
仕事をする中で大切にしていること	仕事をしているときに、大変だなと思うこと	どんな小学生だったか	子どものころは、何が好きだったか
何のために働いているか	どうして今の仕事を続けているのか	仕事についたきっかけ	この仕事を選んだ理由は
お客さんの役に立っていると感じることは、何か	うれしいこと、つらいこと		
仕事の内容			
一日にどれくらい運転するのか		運転以外にどんな仕事をしているか	

 せっかく直接インタビューできるなら、運転士さんの仕事への思いをたくさん聞いていきたいな。

 確かに。具体的な仕事の内容は、本やインターネットでも調べられるよね。

 質問の重なりを確認できたから、インタビューでは自分が聞きたいことを順番に聞けばいいのかな。

 インタビューする運転士さんのことを思い浮かべて、働くことについて考えるために、聞きたいことを出し合って整理することができましたね。また、質問の重なりや違いをはっきりさせることができましたね。
「運転士さんの思い」について、聞きたいことがたくさんあるようですが、「働くこと」について考えるための情報を引き出すために、インタビューをどのように進めますか。

ポイント

- 目的に応じた整理の仕方を選んで情報を整理すると、考えをまとめる際の必要な情報が明確になります。聞くことを具体的に考え、関係する質問を整理しておくことが大切です。

伝え合う内容を検討する場面

図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使い、集めた材料を関係付けて、伝え合う内容を検討する

◇ 小森さんの学級では、インタビューで質問することについて話し合っています。

三人、それぞれが質問したいことを集めて、似ているところや違うところについて整理して、質問したいことを選ぶことができたね。でも、このままで、「働くこと」について考えるための情報を運転士さんからうまく引き出せるかな…。



では、もう一度三人で、質問したいことについて、質問したいと思った理由を出し合いながら、何を、どのような順番で質問すればよいのか考えてみましょう。



教師

目的や意図に沿ってインタビューの流れを考えさせる

【小森さんのグループの話し合いの様子】

小森さんが記録している様子

※話し合う前の小森さんの記録

働くこと 〈バスの運転士〉
大切にしていること



【話し合いの様子】

話し合いの内容を記録して、インタビューの流れを整理できるようにしよう。

質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを聞きたいな。きっと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

小森さん

予想

ぼくがよく乗るバスは、いつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。



清川さん

予想

働くこと 〈バスの運転士〉
大切にしていること
安全(小)、時間を守る(清)



予想しているので、見出しを付けて整理してみよう。

安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだよね。



町田さん

予想に対する感想

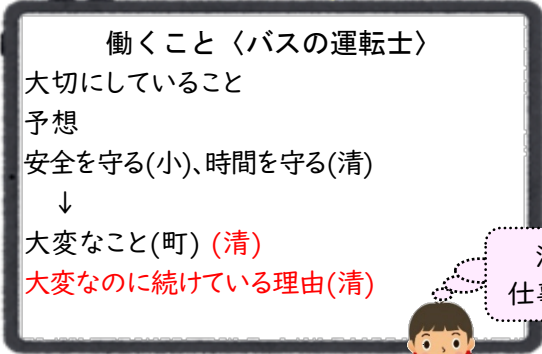
働くこと 〈バスの運転士〉
大切にしていること
予想
安全を守る(小)、時間を守る(清)
↓
大変(町)



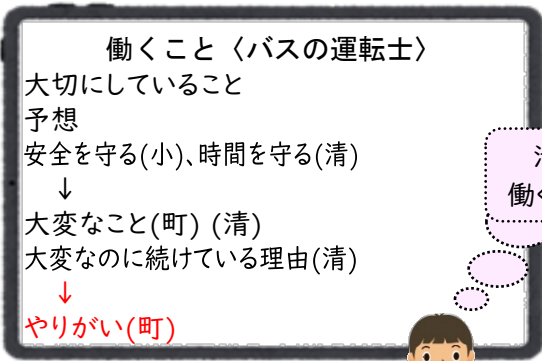
質問をつないでいくためには、町田さんの感想は大切かも…。

インタビューの目的に応じて、自分たちが聞きたいことを出し合い、相手の立場や仕事の内容などを具体的に思い浮かべて、相手の答えを予想しながら話し合うことができていいるな。

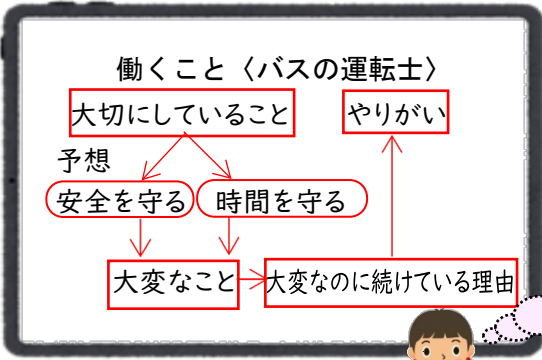




清川さんが言うとおりに、仕事で大切にしていることは、仕事で大変なことと関係してるな。



清川さんの言うとおりに、やりがいを聞くことができれば、働くことについて考えるよい材料になりそうだな…。



確かに、大変そうだね。「仕事で大切にしていること」で話してくれたことをきっかけにして、「仕事で大変なこと」を聞くことができるかもしれないよ。

予想



バスの運転士は、楽しそうだなと思ってはいたけど、大変なこともありそうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

聞きたいことをより深く引き出すための質問案



きっと仕事にやりがいがあるからだよ。

予想



ぼくもそう思うな。大切にしていることとやりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

インタビューの目的や意図とのつながりを確認

このグループはインタビューの目的や意図に応じて話し合うことができていいるな。「働くこと」について考えるという抽象的な問いに迫るために、運転士の方に聞きたいことをより深く引き出そうとして、答えや理由を具体的に予想したり、それらを結び付けて順序立てたりしながら複数の質問を関連付けてインタビューの流れを考えることができていいるぞ。

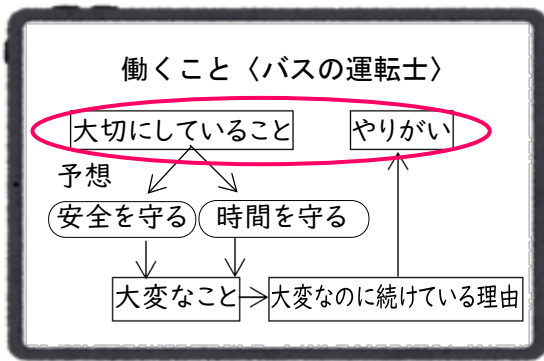


ポイント①

「やりがい」は、清川さんの言うとおりに、働くことについて考えるためにぜひ聞きたいことだから、「大切にしていること」と並べてみよう。

インタビューの流れは、まず「大切にしていること」から質問を始めて、「大変なこと」や「大変なのに続けている理由」を質問してから、最後に「やりがい」について引き出せるといいな。

質問することは四角で囲んで、予想は丸く囲もう。順番は矢印で示すとインタビューの流れが分かりやすいな。



小森さん うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにとまとめたよ。この進め方でいいかな。 **記録の確認**

町田さん …。

町田さん この線や囲みはどんな意味かな。

清川さん 当日が楽しみだね。

清川さん おや。他の二人は分かっているかな。

ちょっと待って。この記録を見て、聞きたいことはありませんか。小森さんが、今回の話し合いを整理してまとめてくれましたが、最後に、この記録を基に、今回話し合った内容をもう一度確認してみましょう。 **ポイント②** 教師

実は、ちょっと分からなくて、聞きたいと思っていたところだったんです。この線や囲みはどんな意味か、確認のため、教えてくださいませんか。

そうだね。ぼくもなんとなく分かった気でしたから、教えてくださいな。

では、説明するね。三人から出た考えを基に、まず、運転士さんに聞きたいことや質問することについては四角で囲んで、答えの予想は丸く囲みました。「働くこと」について考えるために運転士さんから忘れずにぜひ聞きたいことは、大きな丸で囲みました。また、インタビューの流れが分かりやすくなると思って、順番を矢印で示したけど、どうかな。今回の話し合いで出たみんなの考えを正確に記録できているかな。 **記録の共有**

なるほど。線や囲みの意味がよく分かりました。みんなの考えが、よくまとまっていると思います。

インタビューする時に、これを持って行きたいな。

話し合いの記録を基に、今回話し合ったインタビューの流れを三人で確認することができましたね。また、この記録もよくまとまっていますね。「働くことについて考える」という今回のインタビューの目的を意識しながら、三人が質問したいことを整理して、それらを関連付けて質問を重ねるインタビューの流れになっていますよ。この記録なら、みなさんが「ぜひ聞きたい」と思っていることを運転士さんから引き出せそうですね。

ポイント①

○ インタビューの相手から聞きたいことをより深く引き出すためには、答えや理由を具体的に予想したり、それらを結び付けて順序立てたりしながら質問を考えることが大切です。そのためには、インタビューの目的や意図に沿って、「自分がどのような情報を求めているのか」、「聞いた内容をどのように生かそうとしているのか」などを明確にすることが求められます。また、このことは、インタビューで聞いた情報の優先度などを意識することにつながるため、相手の反応に合わせて自分が求める情報を確実に引き出す上でとても重要です。

ポイント②

○ 町田さんや清川さんのように、「話し合いの記録」について十分に理解していない児童がいることがあります。このような場合には、話し合いのまとめとして、記録を確認して、囲んだ丸や四角、つないだ線の意味について共有する機会を設定することが大切です。

○ 今回、小森さんが作成した「話し合いの記録」は、インタビューの目的や意図に沿って、何をどのような順番で質問すればよいのかを明確にするとともに、インタビューする相手の答えに対して自分たちの感想や質問を重ねていくことを大切にして、インタビューの流れが整理されています。このように、話し合いながら即時的に線や囲みなどを用いて記録を作成できるようにするためには、事前に、[知識及び技能]の(2)イ「情報の整理」に関する指導事項と関連させた指導を行うことが効果的です。

インタビューをする場面 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる

◇ 小森さんたちは、事前に作成した【話し合いの記録】に沿って、バスの運転士の岡さんにインタビューをすることにしました。



ポイント①



小森さん

まずは、あいさつの中で、インタビューで聞いた内容の生かし方と自分たちが聞きたいことについて伝えよう。

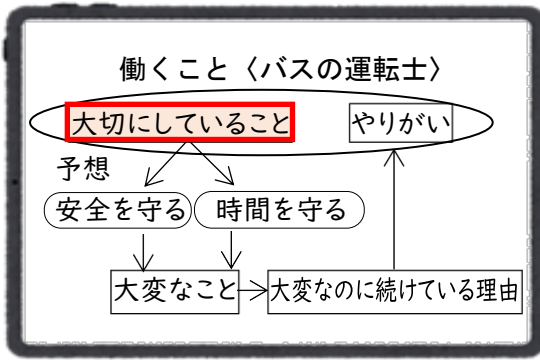
私たちは、働くことについて考えるために、興味のある仕事について調べています。今日は、岡さんの仕事と思いについてうかがいます。どうぞよろしくお願いします。

【話し合いの記録】

どうぞよろしくお願いします。



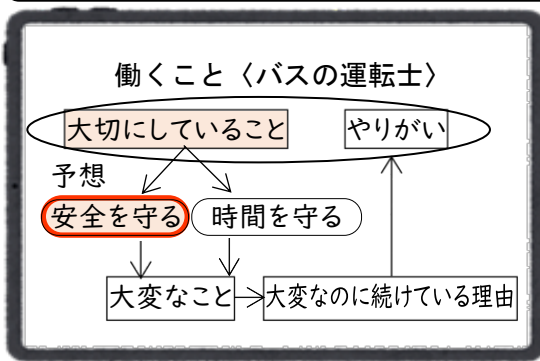
岡さん



私たちは、まず、大切にしていることについて聞くんだったな。

はじめに、バスの運転士として岡さんが大切にしていることを教えてください。

バスはたくさんの人を乗せていますから、やはり、安全に目的地までお送りすることを大切にしています。



やっぱり、安全を守ることを大切にしているんだ。予想どおりだ。次は、どのように安全を守っているのか、具体的に聞いてみよう。

安全に運転することは大事なことです。安全に運転するために、例えばどのようなことを心がけているのですか。

道が混んでいると時刻どおりに運行できないこともありますが、あわててしまうと、大きな事故につながりかねないので、落ちついて運転するようにしています。それに、バスの安全を守っているのは運転士だけではないんですよ。





えっ、そうなんですか。

小森さん

予想していなかったことが出てきた。バスの安全を守っているのは運転士だけではないってどういうことなのかな。せっかくだから、もう少し詳しく聞いてみよう。



運転士の他にどんな人がいるのですか。

出発する前に、自分でもバスの点検をしますが、整備士も定期点検をしています。そのほかに、私たち運転士の健康状態を確認するなど、安全な運行を管理する人もいますよ。

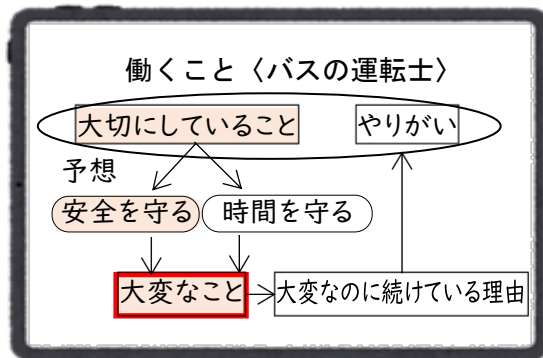


岡さん

予想していた以上に、岡さんが大切にしていることについて、詳しく聞けたな。安全を第一に考えていて、それがとても大変なことが分かってよかった。



なるほど。たくさんの方が、乗客の安全を支えてくださっているんですね。私たちは時間を守ることも大切だと思っていましたが、私たちが思っていた以上に安全を第一に考えてくださっていることが分かりました。



ポイント②



仕事で大切にしていることから、安全を守ることについてもつながって、かなり詳しく聞けたぞ。これをきっかけにして、大変なことについても聞いてみよう。

清川さん

バスの安全な運行のためには、大変なこともあるかと思いますが、いかがですか。

～（インタビューが続く）～

ポイント①

- インタビューをする場面では、あらかじめ聞きたい情報を整理しておいたり、準備したメモを手元に用意したりするなどして、児童が聞きたい情報や聞いた内容の生かし方を明確にできるようにすることが大切です。

ポイント②

- グループでインタビューをする活動においては、一人ずつ順番に聞きたいことを聞くのではなく、自分たちが聞きたい情報や聞いた内容の生かし方をグループで共有するなどして、意図的に質問を重ねたり、聞いた情報をつなげたりできるようにすることが大切です。

【活用のポイント】

- ・ 本授業アイデア例では、事前に行った【話し合いの記録】を ICT 端末に保存して活用していますが、ワークシートやノートなどを活用することも考えられます。
- ・ インタビューのポイントについては、事前に指導したり、事後にインタビューの様子を振り返りながら指導したりすることが考えられます。指導に当たっては、令和5年度の授業アイデア例「学校ボランティアの人たちを紹介するためにインタビューをしよう」も参考になります。

※本授業アイデア例においては、「話し合い」や「話し合い」の表記について、「話し合い」という表記に統一しています。

※出典等

スタジオ タック クリエイティブ編『はこぶ仕事のひみつ図鑑』（2020年7月 スタジオ タック クリエイティブ）、鎌田和宏監修『名人はっけん！まちたんけん ③くらしをささえるひと』（2019年2月 学研プラス）、株式会社エイジャ編『決定版 夢をそだてるみんなの仕事300』（2018年11月 講談社）、八尾剛己・新堀眞樹子編『職場体験完全ガイド 乗りものの仕事2 ⑨ レーシングドライバー・路線バスの運転士・バスガイド・航海士』（2012年3月 ポプラ社）などを参考にした。